

イオンモール広島府中温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

- (1) 事業所の名称  
イオンモール広島府中
- (2) 事業所の所在地  
広島県安芸郡府中町大須2丁目1-1
- (3) 業種  
貸事務所業
- (4) 事業所位置図  
別紙のとおり

2 計画の期間

本計画期間は、平成19年度を基準年とし、平成24年度から平成28年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

1 基本的な考え方

当社は、ショッピングモールの開発・運営・管理を通じて、地域社会の発展に貢献する商業専用ディベロッパーとして、地域環境に配慮し、事業活動のあらゆる面において、地球環境の保全と改善に努めます。

2 方針

事業活動を通じて環境負荷を最小限とし、環境の保全と汚染の予防に取り組みます。

- ①省エネ・省資源の推進
- ②廃棄物の削減と再資源化
- ③水質汚染・大気汚染の低減
- ④グリーン購入の積極的推進
- ⑤環境に配慮したショッピングモールの開発
- ⑥クリーン活動への取り組み

#### 4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

##### 【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
	平成2年度	基準年度 平成19年度	直近年度 平成23年度
二酸化炭素		9110	9321

##### 【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
	平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
二酸化炭素			

##### 【その他温室効果ガス】

温室効果 ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
	平成2年度	基準年度 平成 年度	直近年度 平成 年度
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF <sub>6</sub>			

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成19年度)	削減目標		目標年度 (平成28年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>	9110	9.0	819	8291
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>				
メタン				
一酸化二窒素				
フロン類				
温室効果ガス 実排出量総計	9110	9.0	819	8291
温室効果ガス みなし排出量				
目標設定の考え方	平成19年を基準年度とし、平成20年～平成23年の4年間と平成24年～平成28年の計画期間5年間の合わせて9年間で、毎年1%削減で計9%削減を目標とする			

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100      削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

単位：排出量(t-CO<sub>2</sub>)，原単位量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)		原単位 削減目標	目標年度 (平成 年度)			
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>							
メタン							
一酸化二窒素							
フロン類							
総排出量							
エネルギー消費原単位 (原油換算kl)							
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100      原単位(c) = (a) / (b)      原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	電気の使用量を基準年度（平成19年度）の使用量に対し26.5%削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・空調の予冷時間短縮</li> <li>・壁面ライトアップ照明消灯</li> <li>・平日の屋上駐車場閉鎖による照明、昇降機、空調電力量の削減</li> <li>・残暑0以降のターボ冷凍機同時2台追掛け運転禁止</li> <li>・冷水ポンプ送水圧力の適切化</li> <li>・冷水系統に膨張タンクを新設し自動制御を適切化</li> <li>・中間期、冬季の空調運転時間短縮</li> <li>・冷水供給温度の適切化</li> <li>・後方エアコンのオートオフ機能リモコン取付け</li> <li>・送風機の省エネベルト採用</li> <li>・冬季の外調機回転数変更</li> <li>・冬季の2F・3Fのファンコイルユニット停止</li> <li>・冬季の入口周り、立駐エレベーターホールのパッケージエアコン停止</li> <li>・立体駐車場照明外周部昼間消灯</li> <li>・照明の間引消灯による照度の適切化</li> <li>・間接照明のLED化</li> <li>・基本照明のLED化</li> <li>・テナント照明開店5分前点灯による空調予冷電力量削減</li> </ul>
2			
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1		
2		
3		

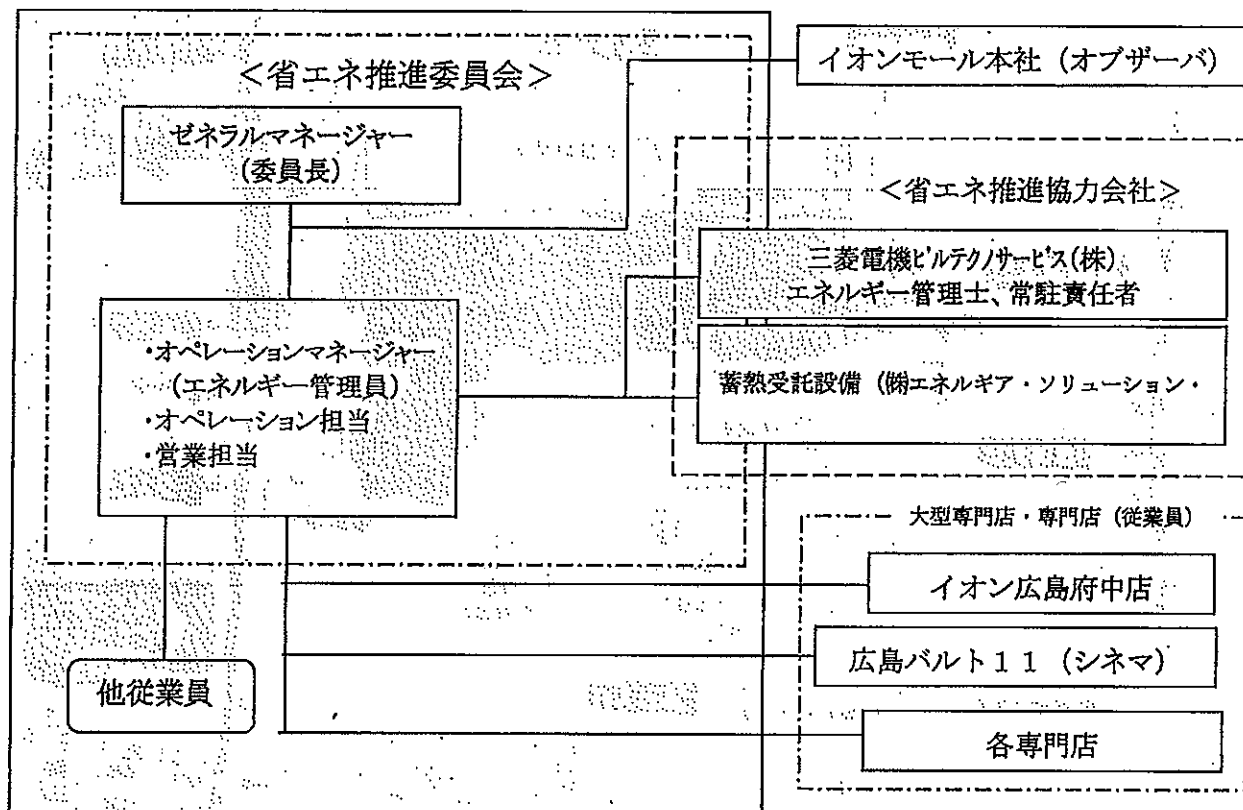
○ その他の取組み

	項目	数値目標	具体的な取組み
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制



### (2) 実施状況の点検・評価

省エネ推進委員会が開催する省エネ推進会議（1回/年以上）において、温室効果ガス削減計画の実施状況の分析、評価を行い、抽出された問題点については、改善策を講じるとともに、計画の見直しを検討する。

### (3) 計画の公表

事務所に備え付けて閲覧する。